

2023年度

自己点検・評価報告書

2024年3月

学校法人 文理学園

日本文理大学医療専門学校

臨床検査学科

目次

I	学校の現況	1
II	評価の基本方針	2
III	重点目標	2
IV	評価項目の達成及び取組状況	3
	1. 教育理念・教育目標	3
	2. 学校運営	4
	3. 教育活動	5
	4. 学修成果	6
	5. 学生支援	7
	6. 教育環境	8
	7. 財務	9
	8. 法令等の遵守	10
	9. 社会貢献・地域貢献	11
V	総合評価	12

I 学校の現況

(1) 施設の概要

学校名: 学校法人 文理学園 日本文理大学医療専門学校

所在地: 大分県大分市一木1727

施設長: 校長 豊住 昭和

(2) 沿革

1995年(平成7年)NBUメディカルカレッジ 診療放射線学科設置

2004年(平成16年)日本文理大学医療専門学校に改称

2005年(平成17年)臨床検査学科 臨床工学科設置

(3) 学科の構成

課程名	学科名	修業年限	入学定員	総定員	昼夜別
医療専門課程	診療放射線学科	3年	80名	240名	昼間
	臨床検査学科	3年	40名	120名	昼間
	臨床工学科	3年	40名	120名	昼間

(4) 学生数

学科名	1学年	2学年	3学年	全学年
診療放射線学科		67	87	154
臨床検査学科		26	36	62
臨床工学科		18	19	37

(5) 教員数

	専任	非常勤
診療放射線学科	8	3
臨床検査学科	5	7
臨床工学科	6	8
計	19	18

II 評価の基本方針

- (1) 自己点検・評価を行うことにより教育研究活動の現状を把握し、諸機能を活性化させ、その教育水準の維持向上に努めることを目的とする。
- (2) 自己点検・評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」に則り実施するものとする。
- (3) 判定基準
 - 4…適切 適切にされており、特に解決すべき課題はない
 - 3…ほぼ適切 現時点で早急に解決すべき課題はないが、状況把握が必要
 - 2…やや不適切 状況把握を行い、解決に向けた取組みが必要
 - 1…不適切 早急に解決すべき課題である

III 重点目標

1. 学校の教育目標

- (1) 社会に必要とされる、保健・医療の担い手としての人的資質を養い、広く社会に貢献できる医療人を育成する
- (2) 進化発展する、医療技術に対応するために、勉学に励み、日々研鑽を怠らない信頼される医療のスペシャリストを育成する
- (3) 国家試験の全員合格を目指す

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 国家試験合格率100%を目指した教育の実践
- (2) 学生の就職活動および内定の早期化

3. 学科の目標

- (1) クラス担任との面談および個別指導等による支援体制の強化、資格試験の受験等を通して将来像の意識付けを図ることにより学習意欲を高める。
- (2) 成績不振の学生に対しては、保護者およびクラス担任と連携を取りながら、17ゼミを活用した個別指導や生活習慣の改善等を図り全員進級を目指す。

IV 評価項目の達成及び取組状況

1. 教育理念・教育目標

評価項目		評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4…適切
2	学校における職業教育の特色は何か	3…ほぼ適切
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3…ほぼ適切
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3…ほぼ適切
5	学科の教育目標、育成人材像は、対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3…ほぼ適切

① 課題
4 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが教職員には周知徹底されているが、学生・保護者等にあまり浸透していない。
② 今後の改善方策
4 年度当初に校内メールで周知する。
③ 特記事項
特になし

2. 学校運営

評価項目		評価
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4…適切
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4…適切
3	運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、また有効に機能しているか	3…ほぼ適切
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4…適切
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3…ほぼ適切
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4…適切
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3…ほぼ適切

① 課題
3 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているが、学科内において十分に機能していない部署もある。
② 今後の改善方策
3 十分に機能していない部署がないように、注意を促す。
③ 特記事項
特になし

3. 教育活動

評価項目		評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3…ほぼ適切
2	教育理念および育成人材像を踏まえ、学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3…ほぼ適切
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4…適切
4	実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3…ほぼ適切
5	業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3…ほぼ適切
6	授業評価の実施・評価体制はあるか	4…適切
7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3…ほぼ適切
8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4…適切
9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4…適切
10	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3…ほぼ適切
11	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2…やや不適切
12	教員の能力開発のために学内において研修等が行われているか	3…ほぼ適切
13	教員の能力開発のために学外での研修等に参加しているか	3…ほぼ適切

① 課題
11 先端的な知識・技能等を修得するための研修会への参加が少ない。
② 今後の改善方策
11 学科内で先端的な知識・技能等を修得するための研修会を積極的に調べて参加する。
③ 特記事項
特になし

4. 学修成果

評価項目		評価
1	就職率の向上が図られているか	3…ほぼ適切
2	資格取得率の向上が図られているか	3…ほぼ適切
3	退学率の低減が図られているか	3…ほぼ適切
4	学習の不安を抱える学生へのフォローアップ体制がとられているか	3…ほぼ適切
5	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3…ほぼ適切
6	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3…ほぼ適切

① 課題
2 国家試験の合格率が低下した。 退学率の逡減は図られた一方で、生活・学習指導に多くの時間を費やしている。
② 今後の改善方策
2 学生の立場に立って適切に助言し、さらなる学習環境作りを整える。
③ 特記事項
特になし

5. 学生支援

評価項目		評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4…適切
2	学生相談に関する体制は整備されているか	3…ほぼ適切
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4…適切
4	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3…ほぼ適切
5	学生の生活環境への支援は行われているか	3…ほぼ適切
6	保護者と適切に連携しているか	3…ほぼ適切
7	卒業生への支援体制はあるか	3…ほぼ適切
8	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3…ほぼ適切

① 課題
7 卒業生への支援体制については全体に周知されていない。
② 今後の改善方策
7 校友会の「地域交流会」等を積極的に周知する。
③ 特記事項
特になし

6. 教育環境

評価項目		評価
1	施設・設備は教育上必要な範囲で十分対応できるよう整備されているか	3…ほぼ適切
2	オンライン授業の実施に必要な環境が整備されているか	3…ほぼ適切
3	防災に対する体制は整備されているか	3…ほぼ適切

① 課題
特になし
② 今後の改善方策
特になし
③ 特記事項
特になし

7. 財務

評価項目		評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4…適切
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4…適切
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4…適切
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4…適切

① 課題	
特になし	
② 今後の改善方策	
特になし	
③ 特記事項	
特になし	

8. 法令等の遵守

評価項目		評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3…ほぼ適切
2	個人情報保護のための対策がとられているか	4…適切
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3…ほぼ適切
4	自己評価結果を公表しているか	3…ほぼ適切

① 課題	
特になし	
② 今後の改善方策	
特になし	
③ 特記事項	
特になし	

9. 社会貢献・地域貢献

評価項目		評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3…ほぼ適切
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4…適切
3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3…ほぼ適切

① 課題
特になし
② 今後の改善方策
特になし
③ 特記事項
1 大分県臨床検査技師会主催の研修会を本校の実習室で開催した。

V 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

【学校評価の具体的な目標】

健全な学校運営、社会環境の変化やニーズに沿った質の高い教育の提供を目標とし、その取り組み及び達成状況等について自己点検・評価を実施するとともに、その結果を公表することとする。

また、学校関係者評価委員会ならびに教育課程編成委員会や大分県臨床検査技師会等の意見を踏まえ、自己点検・評価を学校運営の改善のために活用し、重点目標の達成を目指す。

【総合的な評価】

今年度は2学年体制となり専任教員が1名減となったが、これまでと同様に質の高い教育の提供を目標とした指導を実施した。

また、来年度の在籍が3年次のみとなる事に加え、カリキュラム改正時期も重なり、留年時の教育課程に不安があったが、無事に全員の卒業認定ができた。

臨地実習について、新型コロナウイルス感染症が5類相当となったため予定通り行う事ができた。しかし、後期は3年生数名の病欠欠席者に対して指導が行き渡らず、国家試験直前の対策講座を数年振りに対面で実施できたにもかかわらず合格率が低下した。

最終年度となる来年度は、在校生及び聴講生を最善の形で送り出せるよう、保護者との連携をこれまで以上に取りながら、学習面のみならず精神的なサポートも含めて全力を尽くしたい。